

## 研修医編

Q1. 何を学ぶことができますか？

A. 一般歯科診療に加えて摂食・嚥下リハビリテーション、顎補綴、ドライマウス、味覚障害など様々な専門分野について学ぶことができます。詳しくは、「学習目標」をご覧ください。

Q2. 嚥下障害とドライマウスの両方に興味があるのですが、どちらも学ぶことができますか？

A. 曜日ごとに研修プログラムを組んでいますので、両方研修することが可能です。

(下表をご覧ください。)

Q3. 6ヶ月間、ずっと1名の指導医につくのですか？

A. 診療の指導は複数の教員が行います。(下表をご覧ください。)

摂食・嚥下リハビリテーション、顎補綴、ドライマウス、味覚障害など様々な分野について学ぶことができます。

Q4. 訪問診療を見学することはできますか？

A. 教員の兼業先に同行し、訪問診療を見学することができます。

5つの高齢者施設を2カ月ずつ見学することが可能です。(下表をご覧ください。)

Q5. 医局の机などを使うことはできますか？

A. それぞれに机、書棚、ロッカーを割り当てますので、個人使用が可能です。

Q6. 専門書を借りることはできますか？

A. 摂食・嚥下リハビリテーション、ドライマウス、味覚障害などさまざまな専門分野の書籍を医局に揃えています。自由に借りて勉強することができます。

Q7. 将来、大学院に進むかどうか迷っているのですが、どのような研究をしているのかをみることはできますか？

A. 医局は、大学院生と同じ部屋ですので、どのような研究を行っているのか、また、大学院生活がどのようなものなのかを知ることができます。また、研修時間以外の空き時間に、教員や大学院生のお手伝いをすることで、「研究」というものに触れることも可能です。

ある年の研修医のプログラム

	月	火	水	木	金
4月	嚥下 A	ドライ・味覚	嚥下 A	嚥下 A	訪問診療
5月	嚥下 A	ドライ・味覚	嚥下 A	嚥下 A	訪問診療
6月	嚥下 A	訪問診療	嚥下 A	嚥下 A	ドライ・味覚
7月	嚥下 B	訪問診療	嚥下 B	嚥下 B	ドライ・味覚
8月	ドライ・味覚	嚥下 B	訪問診療	嚥下 B	嚥下 B
9月	ドライ・味覚	嚥下 B	訪問診療	嚥下 B	嚥下 B

注1: 嚥下は、チーム体制で診療していますので、便宜的に「嚥下 A」、「嚥下 B」としています。

注2: 「ドライ・味覚」は、ドライマウスと味覚障害の診療を指します。